|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 議事録 |  | 発行日：２０１５、７，１２ |
| 作成者：事務局担当　窪田 |
| **件名** | **２０１５年度第２回　隊長・支隊長会議　議事録** |
| 配布先 | 長谷川隊長、堤副隊長、石﨑、長、甲斐、小林（勝）、小林（洋）各代表支隊長　　　　　　　　　　（支隊の出席者・関係者にコピーをお渡しください）勝又青パト隊代表、細野、小笠原　佐藤、上田会計、林自治会総務飯田さん（蜂谷戸支隊長）、小城さん（情報広報班リーダー）窪田（事務局） |
| １．開催日時：２０１５年７月１１日（土）　１０：００～１２：００　　開催場所：小川会館　　司　　会：窪田（事務局―会議担当） |
| ２．出席者　：本部：長谷川隊長、堤副隊長、細野さん、小笠原さん、佐藤さん　会計：上田さん　せんげん支隊：石崎さん　　下小川支隊：長さん　かえで支隊　甲斐さん　蜂谷戸支隊：小林（勝）さん、飯田さん　柳谷戸支隊：小林（洋）さん、野中さん、池上さん　情報・広報班リーダー：小城さん（柳谷戸支隊）自治会総務：林さん　事務局：窪田　計１７名 |
| ３．全支隊より１名以上出席、よって会議は成立 |
| ４．議題と結果（配布資料を参照）　議題―Ⅰ（報告・連絡事項）　Ａ　隊長挨拶　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　長谷川隊長　Ｂ　支隊・専門班活動報告（年間の訓練・講習計画）（別紙参照）　 　　　　各支隊・専門班　　　①蜂谷戸支隊、金子支隊長が辞退　　　②本部、せんげん支隊、かえで支隊、蜂谷戸支隊。柳谷戸支隊提出　　　③今後、各支隊ＳＰの訓練に加えてトランシーバーの訓練計画を盛り込む必要がある。　Ｃ　東京都地域の底力再生事業助成金の申請　　　　　　　　　　　　　　　堤副隊長　　　現在は事前相談期間だが、７月６日に一旦申請書類を送付した。①昨年度の助成金２０万　　　円の使途の分かる書類、②役員名簿、③５支隊の活動場所の分かる図面、⑤トランシーバー１３台の配置、管理・使用方法などの分かる書類などを追加送付するようにとの指示あり。　　　１０月２５日の防災訓練をもって本助成事業の完了とする。実績報告書の提出はその２週間後なので、１１月１０日には提出し、これをもって今回の事業は完了としたい。その後、追加の書類等の提出要請に備えるためにＳＰ訓練などの際、トランシーバー使用の写真を撮っておいてほしい、とのこと。尚今後の資料提出に当たっては、トランシーバー１３台で進めるとのこと。　　　住民への周知は、自治会便りやポスターの掲示等により、「通知」という形で行う。　Ｄ　地域学習交流会申込の結果　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　事務局　　　結果は落選。１１月８日の講習計画を練り直す必要がある。（次回）　Ｅ　ＳＰ申込申請　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　石崎さん　　　申請済み。　９月下旬決定。申請金額７３、４００円（価格１１０、１６０円）　　　差額の３６、７６０円は防災隊の負担　Ｆ　町田市新任班長講習会（７/２６実施）　　　　　　　　　　　　　　　 　 事務局　　　各支隊で希望者を募り参加してもらう。参加者の人数・氏名を把握して本部に報告。　　　交通費は支給する。　Ｇ　防災訓練実行委員会からの報告　　　　　　　　　　　　　　　　　　　窪田（事務局）　　　①昨年と同じ方針　　　実践的な訓練と役立つ情報を提供する　　　②昨年との違い　　　　通報訓練を加えた。消防署の要請により、防災隊で指導可能な訓練があれば引き受ける。　　　③予備日　　　　　　　１０月３１日（土）　　但し、起震車はなしとなる。　　　④防災クイズ　　　　　今年は２５日にアンケートの形で行う。　　 ⑤動物との同行避難訓練　町田市保健所から、（今年初めて）動物（犬・猫が対象）との同行避難訓練を実施して欲しいとの要請があったが、今年は実施しないことで合意。次年度以降は避難・誘導班、生活支援班で検討する。　　　⑥各支隊への依頼：現在支隊名になっている各コーナーの担当者を任命し、９月１２日の実行委員会（拡大）に出席するようお願いします。　　 ⑥次回実行委員会は７月２６日（日）１０：００～１２：００の予定。　Ｈ　広報計画（自治会だより）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　窪田　　　１２月まではほぼ決定。１～３月はどこかの支隊に記事掲載のお願いをすることになる。　Ｉ　小川小学校雛施設運営連絡会議（７/８開催）の報告（別紙参照）　　　　　　窪田　　　小川自治会作成の「小川小学校避難施設開設・運営マニュアル」を提示。次回連絡会（８月　　　１０日）までに各自主防災隊で検討し、自前のマニュアルを作成するか否かを決定する予定。　　　今年度の予定として、避難施設開設訓練の実施が決まった。９月２７日（日）詳細は次回連　　　絡会にて決定。　Ｊ　感震ブレーカーの設置促進　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　石崎さん　　　感震ブレーカーのビデオ（池上彰氏）を見たのち石崎さんから設置促進についての説明。　　　①今年度の防火・消火班の活動の柱の一つとしたい　　　②未設置の全ての家庭に設置することを目的としたいが、当面各支隊で本日配布したＤＶＤ　　を使って必要性の意識向上に努めていただきたい。　　　③７月１８日の防火・消火班の会議でも提案・検討する。　　♢　　♢　　♢　　♢　 ♢　　♢ 　♢　　♢　　♢　　♢　　♢　　♢　　♢　　♢　　♢　　議題―Ⅱ（審議事項）　Ａ　資材・機材購入計画（予算計画）　　　　　　　　　　　　　　　　　　事務局　　　１）：トランシーバー（９台）（４０万）　　：リアカー（５台）（１５万）　　　 ： 倉庫（せんげん）１　（２０万） ：運営経費２０万　　　 　：ＳＰ助成の差額　　３６、７６０円以上は決定。但しトランシーバーは地域の底力助成金を活用（２０万）せんげんの倉庫　　　　　は更新ではなく、増設が認められれば約１１万となる。　　　２）：上記以外は検討が十分でないので、支隊・専門班で必要と思われる資機材の候補を次回　　　　　 隊長・支隊長会議に提案してもらって検討する。　　　３）：防災マップの改定は今年度は行わない。　Ｂ　非常時積み残し案件の進捗状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　事務局　　　本部担当の整備計画はほぼ達成。　Ｃ　ボランティア保険（別紙参照）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　事務局　　　加入の方向で検討してみてはどうかという意見が多い。次回までに詳細な内容を調べて報告する。（天災コース、１人当たり掛け金年６００円、４００人の活動隊員と仮定すると年間　　　２４０、０００円必要）　Ｄ　避難行動要支援者名簿（別紙参照）　　　　　　　　　　　　　　　　　事務局　　　もらっておこうという意見と、支援の態勢ができるという見通しが立つまではもらわない方が良いという意見にほぼ二分された。結論は次回に持ち越し。　Ｅ　トランシーバーの管理者・担当者の任命　　　　　　　　　　　　　　林さん・事務局　　　トランシーバーの取り扱い体制は、情報・広報専門班の分科会として組織化する。８月２２日の情報・広報専門会議の後、連続して本日決定した管理者で会議を開催し、１３台体制になった時の具体的な管理体制、管理方法・訓練計画（使用方法の基礎教育、実践的な利用訓練など）を検討、決定する。　　　◇管理者　　　せんげん：石崎さん、　下小川：長さん　　かえで：甲斐さん　　蜂谷戸：飯田さん　　　柳谷戸　：小城さん　　青パト隊：勝又さん　　本部：窪田　Ｆ　専門班の統合・名称の変更　　　　　　　　　　　　　　　　　　　小林（勝）さん　　　①給食・給水班を生活支援班（給食・給水班）と改める。　　　②避難・誘導と救出・救護班の統合については問題提起のみ。次回検討。　Ｇ　中・高生の防災隊での位置づけ　　　　　　　　　　　　　　　　　小林（勝）さん　　　元気な中・高生に非常時に防災活動に参加してもらうことは可能か。　　　十分な検討時間はなかったが、保護者、学校、ＰＴＡ、などの了解があり、かつ、本人の　　　自発的な申し出があれば可能ではないかという意見が多かった。　Ｈ　次回隊長・支隊長会議　　　日時：　９月１９日（土）　１０：００～１２：００　　　場所：　小川会館　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上 |
|  |